

職場を風疹から守る3つの行動



1. 配慮が必要な従業員を、風疹感染から守ります

- 風疹流行時は、抗体価が低い妊婦の対人業務や通勤混雑を避けたり、在宅勤務を考慮しましょう。
- 妊娠を希望する人とその同居者に、妊娠前に風疹のワクチン接種を済ませておくよう周知しましょう。自治体の補助制度について情報提供しましょう。

2. 風疹に感染した従業員が、職場に来ないようにします

- 発熱・発疹・リンパ節の腫れは、風疹を疑う症状。職場での流行を防ぐため、主治医意見に従い、発疹が消えるまで出勤を控えてもらいましょう。

3. 従業員のワクチン接種率を高く維持します

- 風疹のワクチン接種の機会がなかった1962/4/2～1979/4/1生まれの男性に、2019年から3年間、公費による風疹の抗体検査やワクチン接種が始まりました。職場の健診での風疹抗体検査を、医療機関や健診機関に依頼しましょう。
- 従業員に、風疹のワクチン接種の機会を提供しましょう。風疹のワクチンは、インフルエンザと同時接種も可能です。
- 入職時や海外渡航時に、ワクチン接種歴の確認や風疹抗体検査の機会を提供しましょう。